※令和４年度以降入学生用

学校番号	324

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史科	科目	世界史探究	単位数	３単位	年次	２年次
使用教科書	新詳「世界史探究」（帝国書院）						
副教材等	最新世界史図説タペストリー（帝国書院）、						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・過去から現在にいたる歴史の流れを正しく認識し、現代社会の諸問題を考察するために、グローバルな視点をもって世界史を学び、より良い社会を構築する一助とする。
・歴史事象を公正かつ客観的・多面的に捉える柔軟な視点や観点が求められる。歴史とは人と人との関わりによって紡がれるという意識を持ち、歴史的事象に「なぜ」の視点を持つことを重視して授業を進める。「なぜ」そうなったのかを解き明かすために、関係する様々な要因を把握し、さらに資料、地図等になじんで、歴史的思考力を養うことをめざす。

2　学習の到達目標

・世界の歴史の展開を、地理的条件や世界の歴史と関連づけた知識を身につけることができる。
・世界の歴史に関する諸史料に基づき総合的・客観的に考察する。このことにより、国際社会についての認識を深め、歴史的思考力や異文化理解の力を培い、これからの国際社会で生きる人間としての自覚と資質を養う。
・文化の多様性・複合性と現代社会の特質を、歴史のつながりを意識して広い視野から考察し、地球市民として主体的に学ぶことができる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	世界の歴史の大きな枠組みと展開についての基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	歴史的事象から課題を見出し、世界の形成の歴史的過程と文化の多様性・複合性を、世界的視野に立って多面的・多角的に考察することができる。	歴史的事象に対する関心と課題意識を高め、世界の歴史を意欲的に追及することができる。国際社会に主体的に生き、地球市民としての責任を果たそうとする。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	古代アジア・地中海世界	・古代オリエント世界 ・ギリシア世界 ・ローマ世界 ・インドの古典文明 ・東南アジアの諸文明 ・中国の古典文明 ・南北アメリカ文明	a:ギリシア文明・ローマ文明・アジアの古典文明、南北アメリカ文明に関する知識を身につけている。 b:地中海世界やアジアの古典文明の特質を見出し、その成立の過程を適切に表現している。中国の歴史の関係、中国の歴史と東アジアの民族の歴史の関係を考察し、適切に表現することができる。 c:オリエント文明やインド・中国文明について学びながら、世界の歴史への関心を高めようとしている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ協議 ・ミニレポート
	内陸アジア・東アジア・イスラーム	・北方民族の活動と中国の分裂 ・東アジア文化圏の形成 ・草原の遊牧民とオアシスの定住民 ・イスラーム世界の形成 ・イスラーム世界の発展 ・インド・東南アジア・アフリカのイスラーム化 ・トルコ化とイスラーム化の進展 ・東アジア諸地域の自立化 ・モンゴルの大帝国	a:東アジア世界・イスラーム世界・が形成される過程に関する知識を身につけている。また、西ヨーロッパの中世史や東アジア史に関する知識を身につけている。 b:遊牧民の活動と中国の歴史の関係を考察し、適切に表現することができる。インド・東南アジア・アフリカにイスラーム世界が形成された過程について、適切に表現することができる。東西ヨーロッパの形成について、その過程を適切に表現することができる。モンゴル帝国の成立がユーラシアの各地に与えた影響を考察し、適切に表現することができる。 c:世界各地の人々の歴史に対する関心を高めようとしている。また、各地の国家の形成について、意欲的に学ぼうとする。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ協議 ・ミニレポート

※令和４年度以降入学生用

後期		・西ヨーロッパ世界の成立 ・東ヨーロッパ世界の成立 ・西ヨーロッパ中世世界の変容 ・西ヨーロッパの中世文化	a:中央集権国家の成立過程に関心を持ち、国家の形成について、意欲的に学ぼうとする。 b:ビザンツ帝国とギリシア正教を中心とする東ヨーロッパ世界の形成について、その過程を適切に表現することができる。西ヨーロッパにおいて、中央集権国家が生まれてくる過程を適切に表現することができる。 c:地図を活用して、東ヨーロッパ世界の特質について知ることができる。 c:西ヨーロッパの中世史に関する知識を身につけている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ協議 ・ミニレポート
	アジア諸地域の繁栄	・東アジア世界の動向 ・清代の中国と隣接地域 ・トルコ・イラン世界の展開 ・ムガル帝国の興隆と東南アジア交易の発展	a:ティムール、オスマン朝、サファヴィー朝、ムガル帝国の繁栄と文化に関心を持ち、意欲的に学習する。 b:ヨーロッパの進出と明・清の社会経済の動向を関係付けて考えることができ、適切に表現する。 c: ティムール、オスマン朝、サファヴィー朝、ムガル帝国の学習に際し、地図や年表を有効に用いることができる。 c:16～18 世紀のアジア諸国の繁栄について、基本的な事柄を理解し、その知識を身につけている。	・定期テスト ・ノート	・ワークシート	・グループ協議 ・ミニレポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度